

都留文科大学報

第119号
2012年
7月9日(月)

編集 都留文科大学広報委員会

〒402-8555 山梨県都留市田原 3-8-1 都留文科大学内
☎ 0554-43-4341 URL: <http://www.tsuru.ac.jp/>



平成23年度 学生表彰授賞者



第43回 つる子どもまつり



名誉教授称号授与



平成23年度 卒業式・学位授与式を終えて

都留文科大学入学式 2

新入生のことば 初等教育学科 中野愛実
国文学科 山田莉乃

学長より新入生を迎える言葉

特集 活躍する卒業生 4

㈱キーウォーカーCEO 真瀬正義
フルブライト語学アシスタントプログラム

西城恵子・長又みらの

佐野夢加さんロンドンオリンピック日本代表決定

新教員紹介 文大に着任するにあたって 7

初等教育学科 平野耕一准教授
国文学科 野口哲也准教授
初等教育学科 舘山拓人特任准教授
外国語教育研究センター 中島康雄特任教授
外国語教育研究センター 和田 望特任講師

学外研究報告 12

初等教育学科 竹下勝雄教授
比較文化学科 山本芳美准教授

昨年度の就職状況を振り返る 14

就職委員会委員長 寺川宏之教授

「学生による授業アンケート」の結果から 16

FD委員会委員長 田中昌弥教授

リジャ付大学、リガズ大学との協定留学 18

リジャ付大学、リガズ大学その他の留学制度

講演会だより 20

横田夫妻講演会

文大だより 21

卒業式の様子

名誉教授の称号授与

第43回つる子どもまつり開催

学生表彰制度による表彰

同窓生との模擬面接試験体験会

AED取扱い講習会

防災訓練に参加

各部・サークルの活動紹介

オープンキャンパス情報

第57回桂川祭のお知らせ

人事異動

本 ぶんだい堂

編集後記…前田昭彦 26



都留文科大学入学式

今年の入学者は 806 名

4月5日（木）に、都の杜うぐいすホールにおいて、入学式が行われました。昨年は東日本大震災の影響により、午後をみの1部制でしたが、今年は従来どおり、学科別に午前の部（初等教育学科、社会学科、大学院等）と午後の部（国文学科、英文学科、比較文化学科）の2部制で実施いたしました。



入学者の内訳としては、初等教育学科 204 名、国文学科 139 名、英文学科 136 名、社会学科現代社会専攻 96 名、同学科環境・コミュニティ創造専攻 64 名、比較文化学科 122 名、文学専攻科 10 名、大学院文学研究科 14 名、学部3年次編入 21 名であり、学部、専攻科及び大学院等 806 名の入学が許可されました。

会場の大ホールは入学者でほぼ満員、その式典の様子を隣の小ホールのスクリーンで保護者が見守る中、公立大学法人都留文科大学の西室陽一理事長による挨拶により式が始まりました。続いて加藤祐三学長の新生を迎える言葉、設立団体の小林義光都留市長が祝辞を述べられました。また、入学生代表として、中野愛実さん（午前の部：初等教育学科）、山田莉乃さん（午後の部：国文学科）が新生のことばを読み上げ、「歴史ある文大の学生として恥じることの無いよう、自覚と誇りを持ち、自分自身の成長、夢の実現へとつなげていきたい」と誓いました。式の最後には、本学管弦楽団吉田悟氏の指揮により、本学学生歌の「花のかげ」を全員で合唱し、厳粛なうちに式は終了しました。

新生のことば



初等教育学科 中野愛実

暖かな春の陽射しに誘われて、桜もほころび始めるこの佳き日に、伝統ある都留文科大学の入学式を迎えられたことを、大変嬉しく思います。これも、母校の先生方・家族・友人

たちなど、多くの方々の支えのおかげです。

昨年東日本を襲った大震災では、深い悲しみと辛さを味わい、今自分に何ができるのか、どのような行動をとればよいのか悩み、考えるほど、自分の力のなさに憤りを感じたりもしました。このような混沌とした時代に、私たちは立ち向かっていかなければなりません。不安を感じることも、現実の厳しさに逃げ出したくなることも

あります。しかし、私たちは、被災地で復興に励む方々の勇気と情熱を目の当たりにして、日本人の強さを改めて知りました。そして、未来に向けて頑張っている方々のように、逆境を跳ね返し、将来の人生を自らの手で切り拓くことのできる情熱があります。だからこそ、私たちはこれからの四年間で何をすべきかしっかりと考え、目標を持って学ぶとともに、自ら積極的に行動し、現代社会の直面する問題を解決する力を養っていかなければなりません。

都留文科大学は全国各地から学生が集まり、地域の方々との交流も盛んです。この恵まれた環境の中で、勉学だけでなく、部活動やサークル活動などを通して、たくさんの人たちと交流を深め、協力すること、信頼し合うことの大切さを学び、豊かな人間性を育て、心身ともに成長していきたいと考えています。



国文学科 山田莉乃

やわらかな陽射しの降り注ぐ季節を迎え、新たな生命が芽吹きつつあるこの佳き日に、伝統ある都留文科大学の入学式を迎えられたことを大変光栄に思います。これもお世話になった先生方のご指導、家族や友人など多くの方々の支えのおかげです。このことを忘れずに、新入生一同、これからの大学生活の中で、日々勉学に励み、切磋琢磨しながら、充実した四年間を送りたいと思います。

私たちは、それぞれ大きな夢や希望を持っています。その夢を実現するために何をなすべきかを考え、先生方

の教えを糧として、友人たちと励まし合いながら、現実に立ち向かう強さを身につけたいと思います。都留文科大学には全国各地から学生が集まってきます。この恵まれた環境のもとで、自分の知らなかったことを発見し、多くのことを学んで、自らの世界を豊かに広げていきたいと思っています。そして、勉学に励むことはもちろん、部活動やサークル活動などの大学生活や、地域の方々との交流を通して、協力すること、信頼し合うことの大切さを学び、人として一層成長したいと考えています。

私たちは歴史ある都留文科大学の学生として恥じることの無いよう、自覚と誇りを持ち、自分自身の成長、夢の実現へとつなげていきたいと思っています。そして、未来を見据えた目標と大きな志をもって、大学生としての一歩を踏み出すことを決意し、新入生の言葉といたします。

式辞（新入生を迎える言葉）

都留文科大学学長 加藤祐三

みなさん、入学おめでとう。

みなさんの入学を心からお祝いたします。ご家族のお喜びもひとしおと拝察いたします。私たち教職員や先輩たちは、みなさんを心から歓迎します。

昨年 3 月 11 日、東日本を襲った未曾有の大地震と津波が、町と生活を一瞬のうちに破壊し、多くの命を奪いました。本学は東北出身の学生も多く、そのうちの一人、陸前高田の学生が津波で尊い命を失いました。被災地の人々の心情は察するに余りあります。

一人でも多くの被災学生が有意義な大学生活を送り、未来の担い手になれるよう、本学では特別奨学金制度を創設しました。東日本大震災で重度の被災者となられた子弟の、受験料と学費を全額免除する制度です。

いま世界は大変動の様相を見せ、人びとは「共生」や「絆」を強く求めています。みなさんの活躍する時代は、今回の大震災により、価値観も社会システムも大きく変わるでしょう。その姿はまだ見えていません。ただ、いつの時代においても未来は不透明で見えにくいものです。

したがって未来が「どうなるか」に一定の見通しを持つ必要はあるものの、若いみなさんには「どうなるか」より、むしろ「どうするか」の意思と思考力を育ててほしい。次の自分を「切り拓く力」、そして未来を「切り拓く力」を身につけてください。都留文科大学は、この「切り拓く力」を伸ばすのにふさわしい環境に恵まれています。

見えないものを明らかにしたいという探究心や創造力が、人間には備わっています。こうして我々は文学・芸術・思想を生み、地の果てへ、大海原へ、さらに宇宙へと世界を駆け、人文社会科学や科学技術を創造してきました。

新しい価値観や社会システムの創造には、若者の柔軟な発想と力が不可欠です。人間は一生をかけて成長しますが、なかでも青年期に得たものの影響ははかり知れません。

みなさんは今まで、ただ一つの答えを、いかに速く見つけるか、いかに多く修得するかに学習の重点を置いていたはずで、これからも知識を得る重要性はいうまでもありませんが、大学では新たに次の 3 つが加わります。

第一に学ぶ対象を自分で選ぶこと（その集大成の 1 つが必修の卒業論文の執筆）、第二に学ぶスキルを身に付けること、第三に正解がない課題や複数の正解のある課題に取り組むことです。

学び方が大きく変わる、それが大学生活です。教師や書物を通じて勉学に励む時、部活やボランティアで絆を深める時、そして遠く親元を離れ大人として社会とかかわる時、自分の内面から湧いてくる考えや感覚を大切にしてほしい。それがたとえ漠然としていても、それこそが一人一人にとって個性的で本源的なものだからです。

・・・・・・（中略）・・・・・・

これからは、歴史的に蓄積されてきた人類の英知を再点検



学 長 加藤祐三

し、地球を支える新たな仕組みを創り出す時代に入ります。ご家族や年長の方々に、どのように生きてきたかを尋ねてみて下さい。その対話を通じて、まず足下の過去を知ることから始め、今後どのような社会を築いていくか考えてください。

みなさんが親元を離れて新しい生活を始める、この都留という大学町は、すばらしい水と空気と緑に恵まれています。まさに「山紫水明の大学町」です。

全国各地から集まる学生の約 9 割は大学周辺に住み、都留市民の約 10 人に 1 人が文大生です。ここは教職員と学生、学生同士、先輩と後輩、地域の人々との距離が近く、本格的な勉学はもとより、様々な方言や文化を互いに尊重しつつ学べるなど、人間形成に大切な要素が随所にあります。

大学町・都留で四年間、自らと社会とを「切り拓く力」を蓄え、それを基盤に、各人の個性に従って、のびやかに才能を開花させてください。若い力と情熱で、強く、しなやかな心と体を育ててほしい。これこそ世界の荒波や、不透明な未来に立ち向かう底力になります。

みなさんの成長を心から楽しみにしています。ともに歩んでいきましょう。

特集

活躍する卒業生

今回は、本学の卒業生で広く活躍されている方をご紹介します。

真瀬正義さんは、学生時代は初等教育学科算数教室（植村ゼミ）に属していましたが、同時に現在も続いております「情報センターの学生指導員」の第一期生でもありました。学内にインターネットが接続されたばかりの環境の中、Windows3.1 パソコンでの UNIX を利用したメールの送受信やホームページ作成についての講座開催、時間外においての学生指導などに積極的に参加してくれました。また、起業間もない頃には、私の授業にもゲストスピーカーとして参加して頂きました。

（文責：杉本光司）



「都留」が私の原点

株式会社キーウォーカー CEO
真瀬正義

大学卒業後、日立ソフトウェアエンジニアリングでソフトウェア開発を5年経験した後、株式会社キーウォーカーという自然言語処理や検索エンジンの開発をおこなう会社を創業しました。開発した自然言語処理エンジンや検索エンジンは、新聞社が運営するニュースサイトをはじめとして様々なインターネット媒体で利用されています。

正直に白状しますと、私が進学先として都留文科大学を選んだ理由は、教育とは関係ありません。東京に憧れは無かったので、「国公立大学を文系科目で受けられる環境のよさそうな大学」という視点で都留文科大学を選びました。実は、入試は東京の予備校で受けたので、合格してから初めて都留市を訪れ、周辺の自然環境に圧倒されたことをよく覚えています。

都留文科大学は、ほとんどの学生が自然あふれるキャンパス周辺に暮らし、時間の流れもゆるやかで、物事をじっくり考えたり、教員と学生が意見や考え方を熱く交わしたりと、様々な知的刺激を受けるのに最適な環境です。学生の特権として、お金は無くとも時間だけはあるので、勉強に限らず、アルバイトやバイク旅行、スポーツ大会参加、全国から集まるユニークな友人達と共同でイベント等を企画したり、などなど様々なことにもチャレンジしました。

また、女子学生も多かったので恋のときめきもあり、（今振り返ると）とても青春を体験した時代でした（笑）。なかでも、学内にあるプログラミングサークルに入り、そこでプログラミングに再び目覚めたことが、後の人生の大きな方向性を決めました。

その後、ゼミにおいて個性的で数学に詳しい植村憲

次教授との出会いがあり、人間の学習過程や幼児の知能発達の話しを聞いたこともあり、現在ビジネスで関わっている人工知能関連の研究を独自に始めました。自分が本当にやりたいのはこの分野だ、と言うことに気づくことが出来ました。

卒業して16年経ちますが、こうして思い返してみると、今のビジネスの契機、目標、考え方のほとんどが、都留文科大学在学中に出来ていたように思います。ただし、当時の自分には、その時に勉強していることや熱中していることが、将来の自分の仕事とどのようにつながるのかというイメージはよく見えていませんでした。また、卒業後に「学生時代にもっと外に出て、その時にしか吸収できない経験や人脈をつくっておけば良かった」と思う機会も多いです。

学生の皆さんも是非、自分の関心のある業界でのインターンやアルバイト、ボランティア活動など、視野を広げてキャンパスの外、社会を見る機会もつくってみてください。色々な場所に行き、色々な人と出会い、外の世界での自分の活躍をイメージし、そのために必要なものを大学でじっくり探り、吸収してってください。そして、皆さんの4年間の学生生活を新しい出会いと友情に満ち溢れた、とても充実した日々にしててください。



会社のエントランスにて。革ジャン姿の真瀬とスーツ姿の新入社員2名で

英文学科卒業生、 フルブライト語学アシスタントプログラムで活躍

国際交流・留学委員長 中地 幸



日米教育委員会によるフルブライト奨学金は日米の相互理解に貢献できる知的リーダーを育成することを目的とする奨学金です。ノーベル賞受賞者も輩出する大変名誉ある奨学金ですが、2011年度のフルブライト語学アシスタント・プログラム（FLTA）では、全国から選抜された6名という少数の奨学生の中に、本学英文学科卒業生の長又みらのさん（2011年3月卒業）と西城恵子さん（2011年3月卒業）が入りました。FLTAは21歳～29歳の若者を対象としたプログラムで、アメリカの大学で1年間日本語を教え（あるいは先生の助手し）ながらアメリカ文化への理解を深めるものです。往復旅費、宿舎、食費、健康保険費などが支給され、アメリカの大学の授業も学期に2コースまで受講できます（その分の授業料も支給されます）。応募条件の詳細（必要な英語力や準備する書類など）は、日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）のホームページ上にありますので、興味のある方は、是非ご覧下さい（2013年度FLTA奨学生応募締切は8月31日）。英語教員免許保持者、および取得見込の4年生はこのプログラムに応募できます。



FLTAとしての9カ月 西城恵子

私はフルブライト語学アシスタントプログラム（FLTA）を使って、2011年8月から2012年5月までアメリカ、ペンシルバニア州のスクラントン大学で日本語を教えていました。スクラントン大学はカトリック系の私立大学で、MBA取得は全米でトップ10に入るセメスター制の大学です。

日本語のクラスは初級、中級、上級があり、私は初級と中級を担当しました。学生数は少ないですが、みんな勉強熱心で試験前には自ら勉強会を開くすばらしい学生です。一緒に料理や折り紙をしたり、着物の着付けをしたり様々なアクティビティーを行いました。

みんな日本に非常に興味を持っています。日本語を通して彼らの人生に関われることを嬉しく思いました。

また、幼児教育や、社会統計学などの授業を



大学のファッションショーで着物を着ました！

履修したことで、アメリカ文化や社会に対する知識を深められたことも大きな収穫です。この9カ月は、人との出会いにも恵まれ、充実した一年でした。世界中に友達ができたこと、かけがえのない思い出が沢山できたことに心から感謝しています。



FLTA体験記 長又みらの

私は、Fulbright 奨学金の FLTA (Foreign Teaching Assistant) プログラムで、2011年8月から2012年の6月まで、ジョージア州アトランタにあるスペルマン大学という黒人女子大学に派遣されていました。

スペルマン大学は女子大学なのですが、すぐ隣にはモアハウス大学という、キング牧師の母校として名高い黒人男子大学があります。もうひとつ、黒人大学が隣にあり、この3つの大学内で生徒は授業を取ることができるので、日本語を取っている学生には男の子も多かったです。私は、日本文化を紹介する機会を授業に取り入れるようにしました。例えば私が浴衣を着て

見せたり、或いは生徒達に実際に着てもらったり、また、折り紙を教える機会なども作りました。一方、生徒からアメリカ文化や英語を教わる機会もたくさんあり、私自身も楽しく文化交流ができました。

大学で1学期につき、2つ授業を取ることが許されているので、黒人文化を知ることができる、ジャズやアフリカンアメリカンアートのクラス、女性学の授業などを取りまし



日本語を教えた生徒達と

た。9カ月という期間はあっという間で、本当に自分を成長させる良い経験ができたこと、私を支えてくれた人たちに感謝をしています。

佐野夢加さん（本学職員） ロンドンオリンピック 日本代表に決定



日本代表を西室理事長へ報告
隣は麻場陸上部部長

平成24年6月8～10日の3日間、大阪市長居陸上競技場において、ロンドンオリンピック代表最終選考会を兼ねた第96回日本陸上競技選手権大会が開催され、本学関係選手5名が出場いたしました。佐野夢加さんは女子100mに出場し、予選を突破して決勝でも見事4位入賞を果たしました。これらの結果から、6月11日に日本陸上競技連盟は、ロンドンオリンピック4×100mリレーの日本代表に佐野夢加さんの内定を発表。発表された際には「学生時代から、都留市の都留文科大学にきて9年になりますが、その頃からの夢であるオリンピックに出場できるチャンスをつかむことができて大変嬉しいです。麻場先生をはじめとして、仲間や恵まれた環境の中で練習を続けてきたことが良かったのかなと思います。」との喜びのコメントを寄せてくれました。夢舞台であるロンドンオリンピックでの活躍をみんなで応援しています。

今後の予定	7月中旬	国内での合宿
	7月21日(土)	オリンピック結団式
	7月下旬	ナショナルトレーニングセンターにて合宿後、海外合宿
	8月初旬	イギリス(ロンドン)のオリンピック村へ入村
	8月9日(木)	ロンドンオリンピック 女子4×100mリレー 予選
	8月10日(金)	ロンドンオリンピック 女子4×100mリレー 決勝

佐野夢加プロフィール (平成24年6月末現在)

氏 名：佐野 夢加(さの ゆめか) 山梨県富士川町出身
 所属チーム：都留文科大学職員陸上競技部【指導者：麻場一徳 部長】
 学 歴：平成13年3月 増穂町立増穂中学校卒業
 平成16年3月 駿台甲府高等学校卒業
 平成20年3月 都留文科大学文学部初等教育学科卒業
 職 歴：平成20年4月 都留文科大学総務課職員(現在に至る)
 主な競技成績：国民体育大会10回連続出場
 中学時代 ベストタイム：12秒25(現山梨県中学記録)
 平成12年10月 ジュニアオリンピック 100m準優勝
 高校時代 ベストタイム：12秒12(前山梨県高校記録)
 平成14年、15年8月 全国高校総体 100m出場
 大学時代 ベストタイム：11秒94(当時山梨県記録)
 平成17年5月 関東学生対校選手権大会 100m3位
 平成17年6月 日本学生対校選手権大会 100m4位
 社 会 人 ベストタイム：11秒59(山梨県記録) 平成22年4月 織田記念
 平成21年7月 日本GP南部忠平記念陸上競技大会 100m優勝
 平成22年5月 東日本実業団選手権大会 100m優勝
 平成22年9月 IAAFコンチネンタルカップ
 アジア・オセアニア代表 4×100R出場
 全日本実業団選手権大会 100m優勝
 平成22年11月 広州アジア大会日本代表 4×100R出場
 平成23年5月 アジアグランプリ4×100R第2戦・第3戦優勝
 平成24年6月 全日本陸上選手権大会 100m 4位(11秒69)
 平成24年7月 ロンドンオリンピック4×100R代表決定



ウォーミングアップの様子

新教員紹介

文大に着任するにあたって

理科は面白い！



初等教育学科准教授
平野耕一

本年4月より都留文科大学初等教育学科に着任致しました平野耕一です。

着任するにあたり、この3月に荷物を運びに初めて都留文科大学の物理学研究室へ来た時のことです。研究に必要なものなどを車に積んで建物の下まで来て、ここから5階の物理学研究室まで一人で運ぶのは大変だなと思っていたと、物理ゼミの学生さんが数人出てきてくれて、「運びますよ。」と私の研究道具などを5階まで運んでくれました。このような学生のいる環境で、これから教育・研究をしていけることを、とても嬉しく思いました。

私は都留文科大学に着任する前は、高等専門学校にて物理学の教員をしておりました。高等専門学校では、主にものづくりを基礎とし、実験・実習を重んじています。



演示実験の様子
(扇風機と風船を用いた実験)



物理ゼミでの歓迎会にて

ここでの経験を活かし、都留文科大学では、理科の実験器具をきちんと安全に扱える教員を育てていきたいと思います。特に初等教育学科では、小学校の先生を目指す学生が多いと思いますが、現役の小学校の先生に対する全国的なアンケートでは、「理科の実験に苦手意識を持っている」という回答が約60%に上ったそうです。都留文科大学の学生には、逆に「理科が得意だ!」「実験器具の扱いはきちんとできる。」と言えるように、指導していきたいと思っています。

別の(全国的な)アンケートでは、小学生は、理科が好きという割合がまだ比較的高いのですが、中学生、高校生となるにつれて、理科が好きという割合が低くなっていくようです。もしかしたら、実験をあまり重んじない、大学受験重視の授業などが影響しているのかもしれませんが、都留文科大学の教員を目指す学生には、興味を持てる理科の授業、「理科は面白い!」と

思ってもらえるような授業ができるよう、様々な工夫を考え出せる技術を身に付けて欲しいと思います。

私の研究分野は、宇宙物理学です。宇宙初期にはインフレーションと呼ばれる加速膨張の時期があり、この時期に現在の宇宙の構造の種ができたと言われています。そして、宇宙は現在も膨張を続けています。これは想像ではなく、宇宙物理学は実証に基づいた精密科学です。我々は、このような自然の真理のうち的一部分しか知らずに生きているのですが、宇宙物理学のような自然の真理を子ども達に話すことのできる小学校教師というのも素敵だと思うので、是非、教員を目指すみなさんにも、教養として定性的な部分だけでも知って欲しいと思います。

この稿の最後に、教員採用試験を目指すみなさん、必ず合格するんだという強い意志を持って、早めに情報を収集し、準備に励んで下さい。

新教員紹介

文大に着任するにあたって

赴任の挨拶



国文学科准教授
野口哲也

はじめまして。4月1日付で近現代文学担当として着任いたしました、野口哲也と申します。専門は日本近代文学ですが、特に幻想文学と呼ばれるジャンルとその作品について、明治～昭和期にかけて文壇の中心からはやや外れた位置での活躍を続けた泉鏡花の小説や戯曲を対象として研究しています。

泉鏡花というと近代の作家の中ではスタイルもテーマも伝統的な地盤に立脚した古い存在のように考えられてきたのですが、口承も含めた伝統的な文化的背景に加え、実は外国文学や同時代思想からの影響関係も無視できないということが明らかになりつつあります。私の最近の関心はそのような、従来あまり重要視されてこなかった文脈や、そうしたものの対比で見えてくる新たな作家像という所にあります。もちろん、私自身まだ教員としても研究者としても駆け出しにすぎないので、自分自身の乏しい経験や知見、閉ざされた専門領域等にとどまるのではなく、先輩の先生方や学生諸君にも刺激を受けながら、様々な方向に

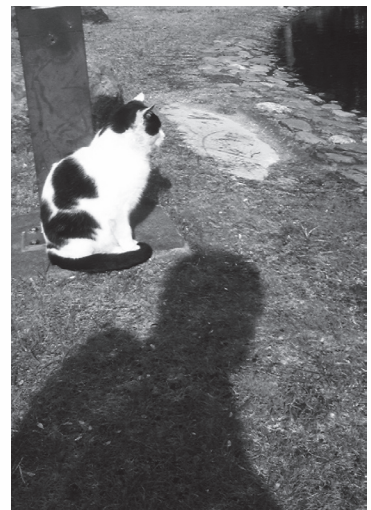
アンテナを張っていたいと考えています。

ところで、私は3月まで徳島県の鳴門教育大学というところでやはり近現代文学を担当しておりました。教員養成に特化した小さな国立大学で、四国本土(?)と二本の橋で繋がっている小さな島にあり、たくさんの椰子の木が植えられた南国風のキャンパスでした。魚やうどんが大変美味しく、都留とは似ている所もある一方で対照的な面がやはり多かったのですが、なかなか恵まれた環境で、自転車と渡船(!)で通勤したりと、少人数の学生を相手に楽しく過ごしておりました。ただ、私自身が群馬の山の中で生まれ育ち、大学時代を仙台で過ごした人間ですので、どちらかというと都留の風景の方が落ち着いて過ごせそうです。

自身の学生時分を振り返ってみて恥ずかしくもありまた後悔も反省もしているのは、お世辞にも熱心に研究に打ち込んだとは言えず、アルバイトやサークル活動に明け暮れていたことです。特に子どものころからはじまって長い長い院生生活の終わりまで、趣味のスキーには熱中(没頭)していたのですが、四国に赴任してからすっかり雪と縁が遠くなってしまう、仕方なく「滑る」のではなく「登る」方に足を突っ込むことになりました。今後はいよいよ二足

の草鞋を履くことができそうなので、この方面でも大変嬉しく思っています。

こちらに赴任してからまだ間もない私ですが、多くの学生が新年度に相応しい緊張感を持ちながら充実した時間を楽しんでいる姿がとても好ましく、こちら元気づけられます。これからそれぞれの目標に向け意識を高く持って学生生活を送られることと思いますが、時には身近すぎて見過ごしがちなものの前で立ち止まったり、遠くに置いてきてしまったものを振り返ったりすることも大切ではないでしょうか。そんな時間は学生時代だからこそ許される特権なのかもしれませんが、私もそういう姿勢で、日本語や日本文学、そして学生諸君に接していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



前任校では「大学猫」の追っかけもしていました。

新教員紹介

文大に着任するにあたって

「美術」と「教育」から
生まれる学びを通して

初等教育学科
特任准教授
館山拓人

今年度、初等教育学科（美術教室）の特任准教授に着任いたしました、館山拓人です。はじめに自己紹介ですが、2003年3月に東京藝術大学大学院修士課程美術研究科彫刻専攻を修了後、2011年3月まで同大美術教育研究室にて助教、非常勤講師を勤めてまいりました。その間、学生の教育・研究をはじめ、同大と地元小学校との教育連携の一環で、「図工・美術教育企画支援のための実践的研究」として小学校教員・児童と大学教員・学生との共同制作の企画等を行ってまいりました。そして、2011年4月からは本学の非常勤講師として、「基礎工芸実技」「工芸実技ⅠⅡⅢ」「彫塑実技ⅡⅢ」を担当してまいりました。

私の研究領域は、「美術と教育」、「彫刻（木彫）・工芸」です。その中の木彫について少しお話ししたいと思います。木彫に使われる「木」は、もともとは生き物です。森から伐採され材料となった「木のかたまり」を「作品（生きたかたち）」としてどう蘇らすか、そのようなことを考えな



授業の風景（工芸実技Ⅰ）

がら作品制作しています。木には生きていた証として年輪が刻まれています。木のかたまりに自分の思い描く「かたち」を彫り出す時に、年輪や木目を意識せずに彫ると途端に割れてしまいます。制作者が木と向き合う時には「木目（木の性格）」を感じることをしなければなりません。つまり「木を読む」「木と会話をすること」です。木を読むことではじめて、木に存在する「ある種の人格」に出会えるのかもしれません。

私は教育の中で、教師が子どもの人格と向き合いその成長にどのように関わっていくべきか、という問いを考えたとき、おそらく制作者として「木の人格」に向い合うことと同じ姿勢で対峙するものだと感じています。制作者の視点から教育を捉える「美術と教育」、つまり「美術」と「教育」がどのような緊張関係を

もっているかを考察することが今、必要ではないでしょうか。本学の授業において、ただ美術作品をつくるのではなく、制作の過程で生まれる諸要素と教師として求められる教育観を関連付けられるよう展開していきたいと思います。

昨年度の授業等を通して、自らの問題意識に向き合う学生と教員が気軽にコミュニケーションできる教育環境に親しみを感じるとともに、制作研究や卒業論文に熱心に取り組む学生の姿に非常に感動いたしました。これから、この自然豊かな都留の環境で、それぞれの「教育のかたち」を持った学生の教育と研究ができるよう努力していきます。宜しくお願い申し上げます。

新教員紹介

文大に着任するにあたって

THE は「ザ」ではない？



外国語教育研究センター
特任教授
中島康雄

はじめまして！ このたび、外国語教育研究センターのメンバーとして学生の皆さんの英語力上達のお手伝いをするようになりました中島康雄と申します。専門は音声学(phonetics)・音韻論(phonology)・外国語としての英語習得(foreign language learning)で、英語の学習相談員もしています。現在は英語MLLクラスのほか、英語音声学やリスニングのクラスを担当しています。

私はその昔、大学3年生を終えてから初めて留学の機会を得てアメリカで言語学教育を受けてきたのですが、滞在約7年半の間にあらためて疑問に思ったことがあります。それは素朴な疑問なのですが、どうして日本人は他のアジア人と比べて英語があまり得意ではないんだろう？ということ。日本人が英語が下手なのは別に恥じることはない。歴史上、日本が一度も植民地になったことがないからなのだ」という人もいま

すが、現実的に今の世の中で英語が苦手なのは得策とはいえません。実際、アメリカに永く住んでいる日本人のなかに英語があまり話せ

ない人が大勢いるのには驚きました。そうなのです。英語がたいていできなくても生活は(お金さえあれば?)できるのです。けれどなぜ？ 私自身、日本の公立の中学・高校時代を思い出してみるとひとつ思い当たることがあって、そのころは英語の音声だけを集中的に勉強する機会はまったくありませんでした。それで、たとえば、THEを「ザ」と発音したり、英語由来の外来語をそのまま日本語式に発音して(先生も生徒も)平気でいたような気がします。でもね、ネイティブイングリッシュスピーカー(英語母語話者)と話したり、教材CDなどを聞いてみると、THEを「ザ」という人はいないんですね。ロシア人はこの音が「ダ」に聞こえているという報告もあります。私も「ダ」の方が近いと思います。

THE SALE! は「ザ・セール」ではなくて「ダ・セイウ」の方が近そうですし、THOSE は「ゾーズ」ではなくて「ドウズ」でしょうか。

英語でも何語でも、音言語である以上、語学力を高めるために発音の習得は避けて通れないものです。



コロラド大学のキャンパス風景

もちろん、発音だけ上手でもダメで、文法・語彙・定型のフレーズなどに加え、声量や表情、論理性、新しいものを取り入れることのできる素直な態度などが重要な要素といえるかもしれません。私の友人の友人に、旅行でアメリカに来ていながら、全然英語を話そうとしない人がいました。聞くと、「通じないから」という答えが返ってきました。レストランに行っても一言も英語で話そうとしないんです。よく聞くと、「コーヒー」が通じないとのこと。ショックでした。日本の英語教育はどうすれば…。

こういったことも含め、私は英語の音声教育と音声研究を中心に活動しています。みなさんもこれから英語の音をじっくり聴いてみませんか？ 今までこの単語の発音はこうだと思っていたのに実は全然違うことに気がつくかもしれません。

英語の学習方法・学習機会・学習目標などのほか、留学相談などなんでもかまいませんので、学習相談時には遠慮なくどんどん相談に来てください。語学は楽しみながら学びましょう！



コロラド大学で担当した
日本語クラスの学生たちと

新教員紹介

文大に着任するにあたって

文大に着任するにあたって



外国語教育研究センター

特任講師

和田 望

今年度から特任講師として着任しました。文大は私の母校であります、まさかこのような形で戻ってくるとは学生時代の私には想像のできな



大学院卒業式

かったことです。在学中は交換留学プログラムを通じて、University of California, Santa Cruz で 1 年間学びました。その際体験したアメリカの大学での学問に対する感覚に感動したことを未だに忘れません。アメリカの大学では、学生はとにかく学ぶこと、とりわけ自ら積極的に学習することを強いられています。GPA (Grade Point Average: 成績平均値) で一定の成績レベルに達していない学生は退学勧告を受けます。そのため、出来る限り高い GPA を維持するために学生は必死に勉強をしなければなりません。私も留学時代は膨大な数の課題や予習に時間

がとられ、毎日慌ただしく大変でしたが、そこから得たものを考慮すると苦勞を上回る充実感を味わうことができましたことに感謝しています。Santa Cruz は「ビーチタウン」でお金持ちが老後をのんびり過ごすというような場所でもあります、キャンパスが海岸近くの丘の上にあり、UC の学生が多く暮らしています。また自然に囲まれているという点では都留の様な雰

囲気もあり、思いのほか馴染める環境でした。一方、娯楽施設はほとんどない都留市ですが、おいしい空気と水はあるし、長閑な雰囲気の中で勉強するには適している場所だと思います。私が学生だった頃に比べれば図書館も新しくなり、文大前駅もでき、学生にとってはより環境が整備されたと思います。

文大卒業後は、再度アメリカの大学院に留学をしました。そこでもやはり生活の大半を勉強に費やしました。アメリカに住んでいた時のことを思い出すと浮かんでくるのは、勉強のために入り浸った図書館やコーヒーショップのことです。当時は辛かったですが、院生仲間とお互い苦勞を分かち合い協力して乗り越えました。アメリカ式の卒

業式は日本に比べ明るい雰囲気です。楽しく仲間と共に院生生活の幕を閉じることができました。大学とアパートの行き来を繰り返す生活でしたが、今でも時々通学路にしていた bike path の情景を恋しく思います。これはその名の通り自転車専用で整備された道路なのですが、ジョギングや犬の散歩をしている人も多く利用しています。私が利用していた bike path は川沿いに整備されており車が通らないため、綺麗な景色を楽しみながら毎日通学ができました。外に出れば自然がすぐそこ、という環境はとても贅沢なものだと思います。都留市の印象を聞くと、「何もない」と言われることが多いですが、実はそれこそが贅沢なのかもしれません。私が文大生だった頃は、外国語教育研究センターはまだありませんでした。外国語教育を充実させるために設立されたセンターですが、今後もより多くの学生にとって外国語学習支援の場として活用され、発展していけるよう邁進していきたいと思っています。



通学路から見た大学

学外研究報告



初等教育学科教授
竹下勝雄

私は昨年度（1年）の学外研修地としてベルギーの首都ブリュッセルを選んだ。ベルギーと言えば、まずチョコレートやビール（銘柄は1000種類以上）を思い浮かべる人もあろう。

あるいはベルギーのマスコットの“小便小僧”や「青い鳥」の作者M・メーテルリンクの故郷としてご存知の方もあろう。

欧州に滞在している実感を味わう瞬間は、何と言っても早朝から開いているパン屋さんで買う焼きたてのクロワッサンだ。温かくサクサクとした触感と香ばしいバターの香りは格別だ。早起きの苦手な私を規則的に起こしてくれるこのパン屋さんの存在は有難い。

この街の治安は決して良いとは言えない。路上駐車した車のガラスの破片が散乱した光景をしばしば目にした。また、公共の場での携帯電話の使用や喫煙マナーなどの社会の意識が日本との大きな隔たりを感じた。ただ、人と交わす挨拶やスーパーや町で出会った人同士が気軽に声をかけ会話を楽しんでいる光景は、当たり前のことであるがとても人間味を感じ、温かい気持ちになった。欧州の人々の暮らしから学ぶべきものと日本

の良さや改善点などを再認識する貴重な経験を多く積むことができた。

このブリュッセルという街は、地区ごとに実に様々な表情を魅せてくれる。中世の香り漂う石畳のつづく街の中心地、グラン・プラス広場。重厚な歴史的建造物が立ち並び、その佇まいに暫し圧倒される。

創作活動において、異国の地で何気なく目にしたものや触れたものによって、“作る”あるいは“描く”という行為について、従来の視点に新たな発想が加わってくる。歴史や文化、自然を大切にしながら新たな要素を取り入れるベルギーというフィルターを通して自作を再考できるきっかけを与えてくれた。

今回、現地での作家活動の再開と児童画の研究を目的に、受入れ先をRHOK芸術アカデミーのCyril BIHAIN教授ならびに国立カンブル視覚芸術大学のBernard LORGE教授の協力を仰ぎ調査研究を行った。前期は受入れ機関の依頼で、市内の芸術アカデミーでの学年末試験のゲスト講師として卒業、進級審査に携わった。学年ごとに展示ブースが仕切られた教室で学生たちとの質疑応答形式で行った。学生たちも緊張した面持ちで一生懸命に日頃の成果を発表してくれた。後期は制作中心の

活動に専心した。今後予定している文化庁や美術館企画の帰国展、現地ギャラリーでの個展企画でこの成果を発表したい。

ベルギーは、しばしばワロン地方（フランス語圏）とフラマン地方（オランダ語圏）の言語対立が話題に上るが、現地に滞在しているとその根深さを窺い知ることができる。

総面積が四国の約1.5倍。ほぼ関東地方程度の国土の中で、ワロン地域政府（フランス語圏）とフランダース政府（オランダ語圏）、更にブリュッセル首都圏地域政府（2言語併用地域）の3つの政府があるのが、外国人の私には理解し難い。

今回、僅かの期間であったが家族と共に現地で過ごすことができた。特に子どもが震災後、幼稚園の園庭で大好きな砂場遊びがままならない中で、現地の子どもたちと一緒に伸び伸びと笑顔で遊んでいる姿を見ることができ、出国時の日本の記憶とオーバーラップして熱い思いが込み上げてきた。

最後に我が国、そして本学を取り巻く厳しい環境の中、この貴重な機会を与えて下さった本学に対し心より感謝申し上げますとともに、今後の本学の更なる発展に貢献できるよう全力で頑張っていきたい。

学外研究報告



比較文化学科准教授
山本芳美

台湾は私が 2000 年から約 2 年半、留学した地である。学外研究の機会を得たとき、真っ先に目的地として思い浮かんだのも台湾であった。前回の滞在では、台北の中央研究院民族学研究所に所属し、学生気分での生活を満喫した感が強かった。今回の滞在では「台湾原住民族の集落にて長期滞在調査をおこなってみたい」との思いが強く膨らんでいた。大学奉職後、台湾には年数回訪問するとはいつても、細切れの調査に留まってきた。聞いたお話を調査ノートにただ書き留めるのではなく、人間関係や親族関係、地域史などをふまえ、心の機微を知ること、より深い歴史や文化への理解が得られるのではないかと常々思っていた。

幸い、南太平洋一周の旅の途中に本学で講演してもらったことのあるプユマ民族の林清美さんとその夫の洪文貴さんが私を自宅に受け入れてくれた。人口 1 万人のプユマ民族は年齢階梯制社会で、男女そして世代ごとに役目と服装が決められている。林さんの家は台湾東海岸の台東市の北にある南王集落にある。台東はプユマ以外にも 6 民族が混住しており、原住民族研究にとっては最適な場所である。林さん宅は「高山舞集」という集落を拠点とする舞踊団を主催し、母語教育をはじめ各種委員をしているので、老若男女、民族を問わずお客が多いことも

台湾での学外研究を終えて

好都合だった。台東に落ち着いたからは、林さんご夫妻に「金魚の糞」のようについていき、会議や選挙演説、互助社の寄合、冠婚葬祭など集落の諸活動にも積極的に参加させてもらった。外出しない時は、陽の高い午前から午後にかけて、前日におこったことをノートに書き留めて、撮った写真をパソコンで整理した。午後 5 時ごろから暑さが弱まるので、「散歩の途中に寄ったから」と称して、お年寄りをつかまえて聞き書きする。2 時間ほど過ぎたら成果のノートを手に帰宅し、「高山」の若い団員達やお客さんら平均 10 名と食卓を囲み、林さんの長男が仕事先から戻ってきて腕をふるう夕食に舌鼓を打つ。そして、よくわからなかったことを夕食の合間にご夫妻に聞く、というのが日常だった。

今回の滞在で学んだことはい

ろいろあるが、プユマの長老たちがいかに自分たちの文化を下の世代に受け継がせようと、心を砕いているかに感銘を受けた。また、先達の期待に応えるべく集落に残る決断をした若者たちが、再三の転職を余儀なくされる姿にも胸を痛めた。2009 年に原住民居住地が集中的に被害を受けた「八八水災」とその後についてもたびたびお話をうかがったが、台湾原住民族をめぐる状況すべてが、学外研究出発直前におこった東日本大震災とその後二重写しに見えた。台湾の人々の今回の震災に対する関心は高く、世界でも最高額に達する義援金を寄付してくれた。学外研究後は、講義や文章などを通して、台湾で取り組んだ研究成果や台湾の人々の声を伝えていくことが、私のできる恩返しだと思っている。



台東・卑南文化公園で南王集落の皆さんが祝福してくれたプユマ式結婚式

昨年度の就職状況等を振り返る

就職委員会委員長 寺川宏之



平成23年度、本学では761名の卒業生(前期卒業生を含む)を送り出しました。現在「卒業後進路調査票」の調査項目の見直しを行っているため、最終的な就職希望者数は確定していませんが、3月末までに487名の就職が決まりました。就職率は平成18年度から20年度までの3年間は95%前後でしたが、その後の2年間は下落傾向にありました。昨年度の就職者数は教員(臨時採用を含む)が若干減ったものの、企業と公務員は増加しました。特に公務員は順調に増加しています。現時点ではまだ最終データが確定していませんが、回復へ向かうことが期待されます。

就職先の内訳は別表に示したとおりです。教員として採用されたものは公立と私立を合わせて166名で、昨年度より10名

減りました。公立学校で正規採用となったものは67名で、例年に比べ、正規採用が減少し、臨時採用が増加しています。公立学校では、北海道から沖縄まで全国36都道府県(臨時採用を含む)で採用されています。正規採用では、採用数の多い大都市圏(千葉、東京、神奈川、愛知など)の比率が高い傾向が続いていますが、特に東京、愛知が増加しています。その一方で神奈川県が大幅に減っています。また昨年度は、横浜市、相模原市、新潟、石川、静岡県・市、浜松市、大阪、和歌山、広島県・市で複数の合格者ができました。

公務員は社会学科を中心に、この10年間では最高の52名の合格者ができました。特に国文学科、英文学科の健闘が目立ちました。また、久しぶりに初等教育学科からは、国家I種(法

務省)の合格者がでています。

民間企業就職者は268名に上り、回復の兆しが見えてきたように感じます。文部科学省と厚生労働省の抽出による平成23年度就職状況調査(国立大学21校、公立大学3校、私立大学38校)によれば、今春卒業した大学生の4月1日現在での就職率は93.6%で、統計を取り始めた1997年以降で最低だった一昨年度の91.1%を上回りました。本学では、製造業、卸小売業、サービス業が大幅に増加し、特に一昨年度落ち込んだ卸小売業では増加に転じました。逆に不動産業と情報処理では減少が目立ち、運輸通信業と金融保険業には大きな変化はありませんでした。

資料としては示していませんが、大学院などへの進学者は55名と例年並みで、専門学校

平成24年3月卒業生 就職先一覧

■初等教育学科

企業

郵便局 株式会社
株式会社 ゆうちょ銀行
池内ベニヤ 株式会社
河口湖オルゴールの森美術館
帝京平成大学
ジンカンパニー 株式会社
株式会社 サンキョー(甲斐ゼミナール)
医療法人社団 もみの木会
大朝ふるさと病院
株式会社 ニューズ
株式会社 松屋フーズ
株式会社 ビームス
中央観光 株式会社 ホテル
鐘山苑
星野税理士事務所
学校法人 二一世紀平和の灯国際文化学園
笠原信用金庫
農業法人 山ゆり
かたすみ
株式会社ネオキャリア
アスフィール 株式会社
ファーストウッド 株式会社

公務員

法務省
山梨県庁
兵庫県庁
都府市役所
松江市役所
山梨県警察本部

教員

岩手県教育委員会
宮城県教育委員会
福島県教育委員会
栃木県教育委員会
群馬県教育委員会
埼玉県教育委員会
さいたま市教育委員会
千葉県教育委員会
東京都教育委員会
神奈川県教育委員会
相模原市教育委員会
新潟県教育委員会
富山県教育委員会
石川県教育委員会
山梨県教育委員会
長野県教育委員会
岐阜県教育委員会
静岡県教育委員会
浜松市教育委員会
愛知県教育委員会
京都府教育委員会
大阪府教育委員会
兵庫県教育委員会
和歌山県教育委員会
山口県教育委員会
愛媛県教育委員会
福岡県教育委員会
宮崎県教育委員会
甲府市教育委員会
都府市教育委員会
甲斐市教育委員会
大月市教育委員会
鳴沢村教育委員会
城星学園小学校
学校法人 駿台甲府学園 駿台甲府小学校

■国文学科

企業

郵便局 株式会社
足和田ホテル
アスフィール 株式会社
アルファクラブ武蔵野 株式会社
株式会社 イマデヤ
射水神社
株式会社 エーツー
株式会社 S P Gホールマン
株式会社 OZ communication
株式会社 大阪屋
株式会社 大西商事
株式会社 鹿島塾
株式会社 きうちいんさつ
株式会社 木下の介護
株式会社 グラッドエデュケーション
光青工業 株式会社
コロロ発達療育センター
株式会社 ザグザグ
社会福祉法人 佐渡福祉会
シー・エス・ピー 株式会社
スーパースタームサン
株式会社 スリーベル
湘味証券印刷 株式会社
ソシオあすかグループ
千代田印刷 株式会社
株式会社 ツルヤ
都留文科大学
株式会社 東急百貨店
株式会社 図書館流通センター
株式会社 富士第一銀行
株式会社 トライヤ
株式会社 ナレッジデザイン
日本赤十字社 香川県赤十字血液センター
株式会社 ノジマ
株式会社 ハートネットワーク

株式会社 ヱィックスリンクス
株式会社 富士通ソフトウェアテクノロジー
株式会社 富士レークホテル
株式会社 文理学院
株式会社 ベイシア
株式会社 山梨中央銀行
ユニクス日本語学校
株式会社 ラボテック
ワタミ 株式会社
学校法人 盛岡大学
塩野谷農業協同組合(J A しおのや)
わたりせ森林組合
いなば農業協同組合
福山市農業協同組合
東西しらかわ農業協同組合

公務員

法務省東京入国管理局
国土交通省
新潟県庁
岐阜県庁
沖縄県庁
熊谷市役所
新宿区役所
下野市役所
横浜市役所
甲府市役所
富士吉田市役所
大津町役場
西郷村役場
東京消防庁

教員

群馬県教育委員会
千葉県教育委員会
東京都教育委員会
相模原市教育委員会
新潟県教育委員会
岐阜県教育委員会
愛知県教育委員会

鳥取県教育委員会
広島県教育委員会
徳島県教育委員会
大分県教育委員会
沖縄県教育委員会
甲斐市教育委員会
学校法人 登道学園
学校法人 仁愛学園 仁愛女子高等学校
学校法人 権野学園 米沢中央高等学校

■英文学科

企業

アイ・エス・ガストム 株式会社
株式会社 あけぼの学院
自分未来アソシエ 株式会社
アナザーレーン 株式会社
アバグループ
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
山梨支社
株式会社 アフリカタロウ
イース 株式会社
株式会社 いちやまー
株式会社 イング
株式会社 ウィルウェイ
キャリアバンク
株式会社 A B C Cooking Studio
株式会社 S・Yワークス
株式会社 エスエフジー
明光義塾
エムオーツーリスト 株式会社
株式会社 オークロンマーケティング
株式会社 オータ
株式会社 オギノ
株式会社 オン・ザ・ブラネット

鹿島商事 株式会社
北関東総合警備保障 株式会社
キャメル珈琲 株式会社
株式会社 キントラ
株式会社 康や
株式会社 クリエイトエス・ディー
強羅崎の星園
湖山亭 うぶや
こどもクリニック おおかわ小児科
株式会社 サイダ・UMS
株式会社 三信堂
J T B ベネフィット
株式会社 ジェイアール西
日本交通サービス
ジョスコーポレーション
株式会社 静岡中島屋ホテルチェーン
静岡製機株式会社
ソーレンホテルズアンドリゾーツグループ
都留文科大学
株式会社 ツルヤ
株式会社 富山育英センター
日動電工 株式会社
日本生命保険 相互会社
ハイエント 株式会社
ハイランドリゾート 株式会社
株式会社 バラダイス・カフェ
東日本旅客鉄道 株式会社
長野支社

や大学の研究生・科目等履修生などはここ数年増加する傾向にあり、一昨年度の 21 名から 32 名に増えました。また、海外留学は 5 名おり、数は少ないのですが、ここ 3 年ほど 5 名程度に落ち着いています。留学は勉学を継続する一つの形として、本学でも定着してきたようです。

以上、昨年度の就職・進学等の状況について特徴をまとめました。卒業生のうち就職決定者と大学院等への進学者を合わせると 7 割を超えていますが、未決定の卒業生もそれぞれの進路を切り拓くべく、現在も就職活動を継続していたり、来年度に

表 1 平成 17～23 年度の就職関係データ

	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
卒業者数 A	629	675	642	683	667	717	761
就職希望者数 B	520	516	490	521	511	530	調査中
就職決定者数 C	430	488	467	492	459	437	487
大学院等進学者数 D	35	44	47	53	53	51	55
就職率 C/B × 100	82.69	94.57	95.31	94.43	89.82	82.45	調査中
進路決定率 (C+D)/A × 100	73.93	78.81	80.06	79.80	76.76	68.06	調査中
内 訳							
企業	260	315	309	315	252	217	268
教員	135	136	138	153	169	176	166
公務員	29	37	20	24	38	44	52

向けて準備中であつたりと、努力を続けていることを忘れてはなりません。

最後に、本年度からキャリアサポート室はキャリア支援センターとして、整備・拡充されました。施設面でも現在のフロア

を夏期休業中に改装し、10 月にはリニューアルして、学生のみなさんを迎えます。今後も、学生のみなさんのための充実した利用しやすい支援体制を組み、みなさんの希望する就職ができるように応援をしていきます。

表 2 平成 24 年 3 月卒業者（前期卒を含む）の就職先別人数

A	教員	小学校	118
		中学校	30
		高等学校	11
		私立学校	7
		教員合計	166
B	公務員	国家公務員	5
		地方公務員	47
		公務員合計	52

C	民間企業	農業	3
		建設業	4
		製造業	31
		電気・ガス熱提供業	2
		運輸通信業	11
		卸小売業	78
		金融保険業	18
		不動産業	3
		サービス業	114
		情報処理	4
		合 計	268

* 当該県の政令指定都市も含む

D	公立学校都道府県別採用数（臨採含む）	北海道	2	静岡県*	14
		青森	1	愛知*	6
		宮城	1	三重	4
		秋田	1	京都	3
		福島	1	大阪*	1
		茨城	2	兵庫*	7
		栃木	7	和歌山	3
		群馬	5	鳥取	2
		埼玉*	1	島根	1
		千葉	7	岡山	1
		東京	11	山口	1
		神奈川*	40	徳島	1
		新潟	2	香川	2
		富山	4	愛媛	1
		石川	3	高知	1
		福井	2	長崎	2
		山梨	13	大分	1
		長野	10	宮崎	1
		岐阜	6	鹿児島	1
				合 計	172

株式会社 富士レックホテル
藤田観光 株式会社
社会福祉法人 平成会
株式会社 北陸銀行
株式会社 ホテルグランド
パレス
MARCO-POLO J
APAN 株式会社
株式会社 マルイチ産商
株式会社 三喜有
株式会社 山梨中央銀行
ホテルゲートイン鹿児島
株式会社 ロジネットジャパン
グループ
株式会社 ワクシス・エン
タープライズ
新潟市社会福祉協議会

公務員

防衛省航空自衛隊
愛知県警察本部
岐阜県警察本部
長野県庁
鎌倉市役所
福岡市役所
海田市役所
海田町役場

教員

札幌市教育委員会
岩手県教育委員会
宮城県教育委員会
埼玉県教育委員会
東京都教育委員会
神奈川県教育委員会
静岡県教育委員会
愛知県教育委員会
京都府教育委員会
大阪府教育委員会
広島県教育委員会
愛媛県教育委員会
大分県教育委員会
宮崎県教育委員会

■社会学科

現代社会専攻

企業

株式会社 アミダ
伊香保温泉 古久家旅館
株式会社 オリエンタルランド
株式会社 共和
キンキテレコム 株式会社
クラランス 株式会社
株式会社 サンキョー（甲
斐ゼミナール）
株式会社 サンキョー（甲
斐ゼミナール）
四国化工機株式会社
島村楽器株式会社
株式会社 セルバ
株式会社 大庄
特定非営利活動法人 地域
資料デジタル化研究会
株式会社 通機
都留市未来型農・林業推進
協議会
トータルディスプレイ 株
式会社
長野信用金庫
長野信用金庫
株式会社 LR 小川会計
有限会社 ヒューマンコ
ミュニケーション エル
ファクトリー
株式会社 ビックカメラ
株式会社 フォネット
株式会社 マイテック
マイホーム・インテリアデ
ザイン
株式会社 マルタカ・パルス
株式会社 三笠会館
株式会社 薬王堂
ヤマハリビングテック株式
会社
株式会社 ワイ・シー・シー
西美農農業協同組合（JA
にしみの）
信州うただ農業協同組合

公務員

北海道庁
山形県庁
山梨県庁
愛知県庁
都留市役所
茅ヶ崎市役所
山梨県警察本部
埼玉県教育委員会
千葉県教育委員会
東京都教育委員会
新潟県教育委員会
富山県教育委員会
山梨県教育委員会
長野県教育委員会
長崎県教育委員会
学校法人 南陵学園 菊川南
陵高等学校

環境コミュニティ創造専攻

企業

社団法人 農山漁村文化協会
株式会社 ネットワールド
株式会社 都工業
株式会社 中広
都留文科大学
株式会社 ラプラス・システム
株式会社 片桐建設
株式会社 アーバン（メガ
ネハット）
株式会社 パソナ
社会福祉法人 明治会 特別
養護老人ホーム慶和荘
中部薬品 株式会社
株式会社 ケイ・クリエイト
三重銀行
有限会社 サン・コーポ
レーション
ノヴィル 株式会社
株式会社 ホンダベルノ神
奈川東
アイ・エス・ガステム 株

式会社
財団法人 いばらき文化振
興財団
株式会社 ハビネス・アン
ド・ディ
株式会社 オンダ製作所
株式会社 坂東太郎
株式会社 エコ・ビレッジ
株式会社 バル
東レエンタープライズ 株
式会社
株式会社 ジェイアール東
海ソアーズ
株式会社 あきんどスシ
ロー
J A 全農青果センター 株
式会社
静岡県農業協同組合中央会

公務員

函館市役所
横濱市役所
三重県庁
浜松市役所
三条市役所

教員

栃木県教育委員会
千葉県教育委員会
神奈川県教育委員会
石川県教育委員会
静岡県教育委員会
沖縄県教育委員会
株式会社 シックスフォー
株式会社 住居時間
杉田エース 株式会社
医療法人社団 成仁
社会福祉法人 静清会
ソーラフロンティア 株式会
社
株式会社 多慶屋
大同火災海上保険 株式会
社
株式会社 イバントコミュ
ニケーションズ
今村証券 株式会社
株式会社 ENG
株式会社 ヴォーチェ

■比較文化学科

企業

アクアス 株式会社
株式会社 アバハウスイン
ターナショナル
株式会社 アマノ
I K E A 福岡
株式会社 イベントコミュ
ニケーションズ
今村証券 株式会社
株式会社 ENG
株式会社 ヴォーチェ

白井国際産業 株式会社
永大産業 株式会社
株式会社 エコ・プラン
株式会社 オートセブン
オートクレーン 株式会社
財団法人 太田総合病院
小川メリス
小野 株式会社
株式会社 カーテン・じゅ
うたん王国
株式会社 河合塾マナビス
株式会社 河口湖第一ホテル
風のテラス KUKUNA
財団法人 キープ協会
株式会社 きちり
株式会社 グッドスピード
株式会社 クラブツーリズム
株式会社 グラフィス
株式会社 くらがねや
株式会社 ハイパーマー
ケット・オリビック
弘進ゴム 株式会社
コロカ 株式会社
株式会社 ココチケア
株式会社 コスモライフ
小松ウオール工業 株式会社
株式会社 サードウェーブ
佐川急便 株式会社
株式会社 サンコー企画 株式会
社
塩野義製薬
株式会社 静岡中島屋ホテ
ルチェーン
株式会社 シックスフォー
株式会社 住居時間
杉田エース 株式会社
医療法人社団 成仁
社会福祉法人 静清会
ソーラフロンティア 株式会
社
株式会社 多慶屋
大同火災海上保険 株式会
社
株式会社 イバントコミュ
ニケーションズ
今村証券 株式会社
株式会社 ENG
株式会社 ヴォーチェ

株式会社 東京インテリア家具
東洋電機製造 株式会社
栃木県商工会連合会
株式会社 ドリームモータ
ースクル
長野信用金庫
株式会社 成田空港ビジネス
日本トイズ 株式会社
日本年金機構
株式会社 ニューオータニ
リゾート
株式会社 ノジマ
株式会社 ハードオフコー
ポレーション
株式会社 HAMAYOU
リゾート
東日本旅客鉄道 株式会社
新潟支社
株式会社 光通信
株式会社 ひつじ書房
株式会社 ファーストリテ
リング
株式会社 深野衣装店
ブックオフコーポレーショ
ン 株式会社
有限責任事業組合プラモ
株式会社 北陸銀行
ホリイフードサービス 株
式会社
ホンダ自動車販売 株式会社
株式会社 マツヤ
株式会社 三越伊勢丹
株式会社 麦の穂
谷頭保育園
株式会社 ゆうちょ銀行
株式会社 らいふ
株式会社 ロフト

公務員

関東公安調査局
福島県庁
北上市役所
さいたま市役所
御殿場市役所
下諏訪町役場
南国市役所

「学生による授業アンケート」の結果から

課題を明らかにし、さらなる改善へ

— 授業に対する評価は着実に向上 —

FD委員会委員長 田中昌弥



毎年度、前期と後期に行っている「学生による授業アンケート」だが、次回からのアンケート用紙の改定により、同一質問項目での分析はここで区切りとなる。そこで今回は、2011年度以前のデータも概観しつつ検討しておきたい。

1. 授業の評価は毎年向上

表1は、2008年度から昨年度までの全体集約のデータを並べたものだ。気がつくのは、ほとんどすべての項目で、前期より後期の授業の方が高い評価を得ていることだ。その原因として、学生がその学年の授業の目標・内容・方法に慣れてくるなど、いくつかの仮説は立てられるが、今回のデータだけでは確定できない。ともあれ、後期の数値が高く出る傾向をここでは「後期効果」と名付けておく。

改めて表1で、「後期効果」に惑わされないために、前期と後期とに分けて経年比較を試みよう。そうすると、例えば、総括的に授業の意義を問う質問項目16では、2008年

度から2011年度まで、前期は4.09→4.11→4.15→4.21、後期は4.16→4.22→4.24→4.28と、この4年間一貫して数値が上がっている。そして、この傾向は、他のほとんどの項目にも当てはまる。要するに、本学の授業に対する学生の評価は、毎年確実に高まっているということだ。

背景には、当然、個々の教員の努力もあろうが、授業は、授業者と学習者が一体となって作るものである。昨今、授業の成立に苦慮する大学が増えている中、学生の皆さんの真摯な姿勢に感謝したい。もちろん、大学としてはこれに慢心せず、条件整備を含む授業改善をさらに進めていかねばならない。

2. 1年前期に配慮が必要、

2年後期から3年前期までが壁

次に表2を見てみよう。全体集約のデータを各学年の前期と後期に分けて並べたものだ。セクション平均点に注目すると、C,D,Eのどの項目でも最も評価が辛いのが1年前期である。教員からは、

1年生の前期科目は、学生も意欲があり、授業がしやすいという感想がでることもあるが、学生の満足度はそのイメージと異なっている。身近な学生に聞いてみると、面倒見がよく、受験という目標がはっきりしている高校の授業に比べ、大学の授業は、慣れるまでは捉えどころがないように感じられたという。高校と大学の授業が異なるのは当然だが、何らかの配慮が必要かもしれない。

もう一つ気づくのは、「後期効果」を外して比較すると、2年前期まで上昇していた数値が、2年後期と3年前期で下がり、3年後期で再び上昇に転じることだ。例えばCのセクション平均点を見ると、1年から4年までの前期の数値は、4.06→4.12→4.09→4.17、後期は4.19→4.14→4.20→4.21となる。正確には、入学から卒業まで同じ集団の推移を追う必要があるが、初等教育学科出身の大学院生たちにこの結果の感想を聞いてみると、専門的な内容が多くなる2年後期から3年前期にかけては授業の意図が実感しにくい

表1 経年変化

項	設 問 文	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
B	あなた自身の授業への取り組みについて								
1	あなたはこの授業によく出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で答えてください。	4.37	4.22	4.42	4.23	4.38	4.21	4.42	4.21
2	授業に出席したときは、授業に集中し、授業内容を理解する努力をしましたか。	4.02	4.06	4.07	4.10	4.09	4.11	4.13	4.13
3	授業中以外の時間に、予習・復習あるいは授業内容を発展させるための努力をしましたか。	2.99	3.11	3.11	3.17	3.15	3.20	3.21	3.29
4	授業の内容をよく理解できましたか。	3.73	3.80	3.78	3.86	3.80	3.87	3.85	3.91
C	授業の進め方について								
5	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	3.98	4.04	3.98	4.11	4.04	4.14	4.12	4.19
6	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	3.95	4.04	3.99	4.10	4.04	4.15	4.10	4.20
7	プリント、ビデオ、教科書など教材の使われ方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.00	4.09	4.07	4.15	4.09	4.19	4.17	4.23
8	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	3.84	3.92	3.87	3.99	3.93	4.03	4.01	4.09
D	授業内容について								
9	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	3.99	4.06	4.00	4.12	4.07	4.16	4.14	4.21
10	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	3.95	4.05	3.97	4.11	4.05	4.14	4.12	4.20
11	授業の目標、内容・構成は、シラバスなどで事前に示されたものに沿っていましたか。	4.06	4.10	4.07	4.13	4.10	4.14	4.16	4.20
12	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。「最も適切」をYes、「最も不適切」をNoとして答えてください。	3.92	3.98	3.96	4.06	4.01	4.07	4.05	4.12
E	授業成果について								
13	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え、技能などを修得できましたか。	4.02	4.10	4.09	4.21	4.13	4.20	4.17	4.26
14	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	3.99	4.08	4.03	4.17	4.08	4.16	4.12	4.21
15	この分野あるいは取り扱われたテーマをさらに勉強していきたいと思いませんか。	3.73	3.82	3.78	3.90	3.82	3.89	3.89	3.97
16	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思いませんか。	4.09	4.16	4.11	4.22	4.15	4.24	4.21	4.28

が、教育実習を経験すると大学で教員が話していたことの意味が分かるようになり、3年後期から授業への姿勢が変わるという。教育実習を受けない学生についてはどうか今後調べてみたい。

3. 評価の高い「実技・実習・実験」。だが後期に課題？

表3は、授業形態別の比較である。「実技・実習・実験」「演習」

に比して「講義」「外国語」の数値が低い。これは本学に限らず、一般的に見られる傾向だが、改善を続ける必要がある。また、「実技・実習・実験」にも課題がないわけではない。後期になると「後期効果」で他の授業形態が軒並み数値をあげるのに対し、「実技・実習・実験」だけは停滞しており、「演習」に逆転される。高止まりと言えなくもないのだが、停滞を打破する

ためにどのような手が打てるかも考えてみる必要がある。

今年度からは、学生の授業への姿勢、学習環境などを中心に、より詳細なデータを収集する。加えて集計方法の改良、質的調査の導入などを行い、授業改善に向けた課題をさらに具体的に明らかにしていきたい。

表2 学年比較

項	設 問 文	1 年		2 年		3 年		4 年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
B	あなた自身の授業への取り組みについて	3.96	3.93	3.88	3.88	3.88	3.89	3.74	3.73
1	あなたはこの授業によく出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で答えてください。	4.67	4.37	4.37	4.22	4.28	4.12	3.77	3.82
2	授業に出席したときは、授業に集中し、授業内容を理解する努力をしましたか。	4.15	4.14	4.12	4.12	4.08	4.15	4.13	4.08
3	授業中以外の時間に、予習、復習あるいは授業内容を発展させるための努力をしましたか。	3.18	3.27	3.23	3.31	3.26	3.31	3.16	3.14
4	授業の内容をよく理解できましたか。	3.85	3.91	3.82	3.88	3.87	3.96	3.89	3.89
C	授業の進め方について	4.06	4.19	4.12	4.14	4.09	4.20	4.17	4.21
5	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	4.09	4.20	4.14	4.14	4.10	4.23	4.19	4.23
6	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	4.05	4.22	4.12	4.15	4.10	4.24	4.17	4.22
7	プリント、ビデオ、教科書など教材の使われ方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.13	4.24	4.18	4.21	4.17	4.23	4.26	4.25
8	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	3.97	4.09	4.04	4.06	4.00	4.11	4.07	4.13
D	授業内容について	4.09	4.18	4.13	4.17	4.10	4.19	4.23	4.22
9	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	4.10	4.20	4.17	4.19	4.12	4.23	4.24	4.24
10	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	4.06	4.17	4.14	4.18	4.13	4.24	4.25	4.28
11	授業の目標、内容・構成は、シラバスなどで事前に示されたものに沿っていましたか。	4.16	4.21	4.14	4.19	4.14	4.18	4.30	4.20
12	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。「最も適切」をYes、「最も不適切」をNoとして答えてください。	4.04	4.13	4.06	4.10	4.03	4.13	4.12	4.17
E	授業成果について	4.05	4.15	4.12	4.16	4.11	4.21	4.17	4.23
13	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え方、技能などを修得できましたか。	4.12	4.22	4.20	4.24	4.20	4.30	4.24	4.30
14	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	4.05	4.17	4.15	4.19	4.14	4.24	4.22	4.30
15	この分野あるいは取り扱われたテーマをさらに勉強していきたいと思いませんか。	3.84	3.93	3.91	3.96	3.90	3.99	3.93	4.00
16	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思いませんか。	4.16	4.27	4.24	4.25	4.20	4.29	4.28	4.34

表3 授業形態比較

項	設 問 文	講 義		外国語		実技・実習・実験		演 習		全体平均	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
B	あなた自身の授業への取り組みについて	3.84	3.83	4.03	3.94	4.20	4.05	4.16	4.20	3.90	3.88
1	あなたはこの授業によく出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で答えてください。	4.40	4.20	4.40	4.11	4.54	4.24	4.47	4.37	4.42	4.21
2	授業に出席したときは、授業に集中し、授業内容を理解する努力をしましたか。	4.05	4.05	4.28	4.21	4.62	4.49	4.36	4.43	4.13	4.13
3	授業中以外の時間に、予習、復習あるいは授業内容を発展させるための努力をしましたか。	3.13	3.21	3.63	3.61	3.30	3.24	3.72	3.78	3.21	3.29
4	授業の内容をよく理解できましたか。	3.79	3.85	3.80	3.82	4.35	4.24	4.09	4.21	3.85	3.91
C	授業の進め方について	4.05	4.13	4.09	4.14	4.37	4.39	4.29	4.42	4.10	4.18
5	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	4.07	4.14	4.07	4.10	4.49	4.49	4.32	4.42	4.12	4.19
6	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	4.03	4.14	4.13	4.19	4.53	4.51	4.32	4.46	4.10	4.20
7	プリント、ビデオ、教科書など教材の使われ方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.17	4.22	4.11	4.18	4.11	4.16	4.29	4.41	4.17	4.23
8	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	3.95	4.03	4.03	4.09	4.35	4.39	4.22	4.39	4.01	4.09
D	授業内容について	4.08	4.14	4.06	4.10	4.39	4.39	4.25	4.42	4.12	4.18
9	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	4.10	4.16	4.13	4.12	4.47	4.48	4.26	4.43	4.14	4.21
10	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	4.10	4.16	4.00	4.11	4.33	4.35	4.26	4.48	4.12	4.20
11	授業の目標、内容・構成は、シラバスなどで事前に示されたものに沿っていましたか。	4.12	4.15	4.15	4.14	4.41	4.40	4.31	4.41	4.16	4.20
12	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。「最も適切」をYes、「最も不適切」をNoとして答えてください。	4.02	4.09	3.95	4.02	4.36	4.35	4.17	4.35	4.05	4.12
E	授業成果について	4.07	4.14	4.02	4.12	4.32	4.31	4.24	4.44	4.10	4.18
13	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え方、技能などを修得できましたか。	4.14	4.22	4.03	4.14	4.46	4.44	4.34	4.53	4.17	4.26
14	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	4.11	4.18	3.93	4.07	4.23	4.28	4.23	4.47	4.12	4.21
15	この分野あるいは取り扱われたテーマをさらに勉強していきたいと思いませんか。	3.86	3.93	3.93	4.00	4.01	3.99	4.02	4.22	3.89	3.97
16	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思いませんか。	4.16	4.22	4.19	4.26	4.56	4.54	4.38	4.56	4.21	4.28

リジャイナ大学(カナダ)及び ラトガーズ大学(アメリカ)との 交換留学プログラムを 新たに開始しました!



国際人としての視点は、今や大学生の必須の教養となっているともいえますが、都留文科大学では、既存の交換留学制度に加え、新たにカナダのリジャイナ大学及びアメリカのラトガーズ大学と交換留学プログラムをスタートさせました。

ますます活気づく、本学の交換留学プログラムなどについての情報をお知らせします。

交換留学プログラム

「交換留学プログラム」とは、1年間、本学から交換留学生として、派遣先大学（海外の大学）へ派遣されるプログラムのことです。学費は本学に通常とおり納めることにより、派遣先大学に支払う必要はありません。また、留学している1年間において派遣先大学で取得した単位も、本学の卒業単位として認定されますので、留学により学年が遅れることもありません（但し、派遣時の学年、派遣時における単位取得状況、学科によっては4年間で卒業できない場合もあります）。なお、年間に派遣する

人数は、カリフォルニア大学15名、セント・ノーバート大学3名、リジャイナ大学2名、ラトガーズ大学3名、湖南師範大学に4名と決まっていることから、応募学生の中から1年間の留学生生活をやり遂げるという強い気持ちを持った、学業が優秀な学生が選抜されます。

英語圏交換留学プログラム

本学の英語圏交換留学プログラムの歴史は、1998年のアメリカの有名州立大学であるカリフォルニア大学（UC）との協定締結から始まりました。それ以来、UCのキャンパス（ロサンゼルス校やバークレー校、リバーサイド校など）に多くの本学学生を送り出すとともに、留学生を受け入れてきました。難関州立大学であるUCとの交換留学協定は、今なお、本学の誇りとする留学プログラムの1つです。TOEFL 550点以上の学生15名が学内で選

抜され、毎年UCに留学しています。

2011年にアメリカ中西部ウィスコンシン州にあるカトリック系名門私立大学セント・ノーバート大学（SNC）と交換留学協定を結びました。SNCにおいても、学部で勉強するためにはTOEFL 550点が必要となります。しかし、このプログラムの最大の特徴は、TOEFL 520～549点の学生でも、現地でESL※を受講しながら（ESLは無料）、1年間の交換留学期間内での学部授業への準備ができる（2学期目から学部授業に参加することが可能）ということです。なお、このウィスコンシン州はローラ・インガルス・ワイルダーの『大きな森の小さな家』や、スターリング・ノースの『あらいぐまラスカル』の舞台でもあり、伝統的アメリカ中西部の雰囲気を満喫できる場所です。

※ ESL…英語を母語としない人のための英語教育

そして今回、UC、SNCに加え、リジャイナ大学とラトガーズ大



リジャイナ大学

学へも 1 年間の交換留学生として学ぶ機会が開かれました。カナダのサスカチュワン州にあるリジャイナ大学とは、1996 年より交流が始まり、1 カ月の短期英語研修プログラムを 15 年程行っていましたが、この短期プログラムは学生に大変評判が良く、研修終了後にリジャイナのホストファミリーの家に「里帰り」する学生も多くいます。このようなことから、リジャイナ大学でも長期の充実した勉強ができるように、交換留学の制度を整えました。ここでも TOEFL 550 点が要求されますが、僅かに 550 点に満たない学生に対しても、その学習態度や意欲などによっては受け入れてくれる柔軟さもあります。

ラトガーズ大学は東部の名門大学としてアメリカ国内でも一目おかれる難関大学ですが、幕末から明治にかけて多くの日本人留学生を受け入れてきたという伝統もあります。大都市ニューヨークにも電車で行く事ができるという立地条件の良さも、この大学の魅力の 1 つです。TOEFL 550 点以上と言う点では、UC と競合するものですが、アメリカ東部地域という文化的な違いなどもあり、交換留学学校の選択においてより幅を広げるものとなりました。

交換留学は 1 年という長い期間ですので、自分にあった大学を選ぶことが大切です。本学の英語圏への留学に関しては、国際交流室の専門員が担当していますので、詳しい情報が欲しい方はお問い合わせください。交換留学生は、TOEFL スコア、書類審査、及び面接（英語含む）などにより選抜されます。



ラトガーズ大学

アジア圏協定留学

アジア圏の協定留学校としては、1997 年から始まった中国の湖南師範大学との交換留学プログラムがあります。毎年、湖南師範大学から 4 名の学生を受け入れ、同じく 4 名の本学学生が 1 年間留学しています。

湖南師範大学は、中国の湖南省の省府である長沙の街にある名門大学です。中国の高度経済成長を反映し、現在、中国語の重要性はますます高まっています。また、中国は古くから日本にとって文化的に関連の強い国であることから、中国語を習得するだけでなくその文化や歴史について知見を深めることは、その後の人生においても大きな財産となるでしょう。応募学生の中から、中国語の筆記試験と日本語での面接を行い、学業が優秀な学生が交換留学生として選抜されます。アジア圏の協定留学に関しても国際交流室の専門員が担当していますので、お問い合わせください。

なお、現在、国際交流室では、韓国の大学との交換留学協定も検討しています。学生たちの将来により広い可能性を拓くため

にも、今後さらにアジア圏の大学とのプログラムも拡大していきたいと考えています。

教師教育プログラム

初等教育学科と国際交流室が共同で行うプログラムとして、カナダ・バンクーバーにあるサイモン・フレーザー大学での小学校教師のための英語プログラムがあります。3 週間の短期留学ですが、初等教育学科以外の学生も参加できます。こちらのプログラムについて興味のある方は、初等教育学科にお問合わせください。

これらのプログラムも利用しながら、多くの学生たちが留学という経験を通して、世界の中に自らを置き、考えるという経験をしてほしいと思います。なお、交換留学生の募集は秋に始まりますので、国際交流室からのお知らせにご注意ください。ここで紹介した留学プログラム以外にも、短期語学留学プログラム（リジャイナ、ハワイ、陝西師範大学）や協定校プログラム（SNC）もありますので、詳しくは国際交流室にお問い合わせください。

講演会だより

学生サークル トリニティ主催

「横田滋、早紀江夫妻講演会」

平成24年6月1日、横田滋さん、早紀江さん夫妻を本学にお招きし、講演会を開催いたしました。この講演会に先立ち、同年5月28日から5月31日まで、コミュニケーションホール2階において、「拉致について考える写真展」を開催しましたが、こちらにも大勢の方に足を運んでいただきました。講演会当日は、あいにくの雨にもかかわらず、2号館101教室が300人以上の方でいっぱいになり、本講演への関心の強さが伺えました。

今回お招きした横田夫妻は、拉致被害者である横田めぐみさんのご両親であります。めぐみさんの父である滋さんは1997年から2007年まで北朝鮮による拉致被害者家族連絡会の代表を務められ、拉致事件解決に向けご尽力されました。また、めぐみさんの母である早紀江さんは、滋さんとともに拉致事件解決に向けご尽力され、これまでに多数の著書があり、今年4月には『めぐみへの遺言』を夫妻

で執筆されました。今回の講演会で、夫妻は「一人の人間として、拉致、人権問題に取り組む必要があります、また拉致問題解決に対する意識というものが近年薄れつつあり、北朝鮮政権が変わった今こそ、若い世代の方が次世代の子どもたちにも拉致の惨さ、絶対にあってはならないことであるということを伝えていかねばならない」とお話されました。

貴重なお話を伺うことができた今回の講演会では、多くの参加者の皆さんが頷き、また時に涙しながら夫妻のお話に集中していました。今回の講演会を催すにあたり、マスコミ各社にも複数回にわたり取り上げていた

だき、地域の方に知っていただけるきっかけになったのではないかと考えております。まだまだ未熟な当サークルではありますが、講演会を通して地域、大学、学生の三位一体を目指すという当サークルの趣旨が、徐々に達成できているのではないかと感じております。

最後になりましたが、今回遠路遙々都留にお越しくださいました、横田滋、早紀江夫妻、並びにご協力いただいた地元の皆さま、そして大学の皆さまに深く御礼申し上げます。

（「横田夫妻講演会」実行委員長
堀川修平）



真剣に話に聞き入る参加者

学生サークル トリニティ…「杉原千畝研究会」を前身団体とし、当時より学内で講演会を開催。2010年には杉原千畝の長男、弘樹さんのご夫人である杉原美智氏を、2011年には千畝研究の若手第一人者である白石仁章氏を招き、講演会を開催。その際、地元の方から「キャンパスは敷居が高くなかなか足を運ぶことができない」という意見を受け、それをきっかけに学内で講演会を催すことで、地域、大学、学生の三位一体をはかることができないかと考え、現団体へと発展。

講師紹介



横田 滋(よこた しげる)

1932年徳島県生まれ。1962年早紀江さんと結婚し、1964年長女めぐみさんが誕生。当時、日本銀行の行員であり、転勤により新潟へ移住し1977年11月15日長女めぐみさんが失踪。1997年に北朝鮮による拉致被害者家族会(家族会)代表に就任。2007年健康上の理由から代表辞任。

横田早紀江(よこた さきえ)

1936年京都府生まれ。夫である滋さんとともに、現在まで拉致事件解決に尽力。めぐみさん失踪後にクリスチャンとなり教会等でも活動が続ける。著書に、『めぐみ、お母さんがきっと助けてあげる』(草思社)、『ブルーリボンの祈り』(いのちのことば社)などがある。

文大だより

平成 23 年度 都留文科大学卒業式

平成 24 年 3 月 22 日（木）、午前 11 時より都の杜うぐいすホール（大ホール）にて、平成 23 年度 都留文科大学卒業式を開催いたしました。当日はそれぞれの明るい将来を示すかのような澄み渡った青空が広がるなか、806 名（学部、専攻科、大学院を含む）がそれぞれの道へ旅立ちました。隣の小ホールに、卒業式の様子を中継しまし



式典の様子

たが、会場は優しい眼差しでスクリーンを見守る保護者のみなさんで一杯になっていました。

式典は理事長の「本学での 4 年間の大学生活を経て、見違えるほどたくましく立派に成長され、大変喜ばしい」との挨拶から始まり、その後、学長より卒業証書・修了証書・学位記などが各学科の代表者に授与されました。学長は卒業生・修了生を送ることばでは、「若者の柔軟な発想と行動こそが、新しい時代を創造する推進力となり、みなさんは次の時代を担うかけがえのない存在である」と述べられました。

そして最後に、卒業生代表の初等教育学科の吉澤詩織さんよ



小ホールの様子

り「卒業生のことば」として“本学で身につけた力や都留市で経験した様々なこと、そして、出会った全ての方への感謝”が語られ、会場からは大きな拍手が湧き上がりました。

本学の吹奏楽部並びに合唱団による学生歌「花のかげ」が演奏されるなか、式は無事終了いたしました。

名誉教授の称号授与

平成 23 年度をもって定年退職された次の 3 名の教員に対し、これまでの教育研究活動並びに学内・外活動などの功績を称え、名誉教授の称号を授与いたしました。

高橋宏幸氏（国文学科教授、31 年の長きに渡り本学で教育・研究に取り組み多くの優れた論文を発表。また、国文学科主任、入試選考委員長、カリキュラム改定委員長、大学院文学研究科委員長などを歴任）
田中 実氏（国文学科教授、国文学科主任など 32 年の長きに渡り本学で教育・研究に取り組み、日本近代文学・国語

教育の分野で貢献。）

窪田憲子氏（英文学科教授、15 年間に渡り本学で教育・研究に取り組み、特に英文学の魅力が学生たちに広く享受するとともに、多くの優れた

著書・論文を発表。また、英文学科主任、国際交流室長、国際交流委員長、大学院文学研究科委員長などを歴任）

優れた多くの学生を輩出するなど、本学発展のため多大な貢献を賜り、誠に有難うございました。



授与後のお別れの挨拶

文大だより

第43回つる子どもまつり開催

5月20日（日）に、今回で43回目となる「つる子どもまつり」が本学を会場として開催されました。幼児から小学生まで市内の多くの子どもたちが集まり、本学学生とともに大いに楽しみました。当日は地域市民のボランティア団体や学生サークルなどによる神楽実演鑑賞会、工作などの体験イベントが行われました。

午前中は各教室等において「あそびのくに」、「おはなしのくに」、「森のおとしもののくに」、「おばけのくに」など全14種類の「くに」が企画され、

子どもたちはゲームや様々な体験などに挑戦しました。お昼には、本部等東側広場で吹奏楽部による演奏を楽しみながら、参加者は美味しそうに持参したお弁当を食べました。

午後からはグラウンドを使用して、6つのチームに分かれ各チームの旗を作り、その後“しっぽとりゲーム”などが行われました。子どもたちはチームの仲間と協力しながら、グラウンドいっぱいに走り回り楽しんでいました。最後にはみんなで大きな輪になってダンスを踊り、マスコットキャラクターのサザ



輪投げ

ビーを囲んで記念撮影し、来年の再会を約束しました。

今年も穏やかな天候に恵まれ、つる子どもまつり実行委員会の入念な準備のおかげでスケジュール通りに無事開催することができました。年々参加者数が減少傾向にあるようですが、本学の学生が中心となって実施する伝統のあるイベントとして、今後も地域貢献の一環として、また、子どもたちにとってよりよい地域づくりが進むように、長く引き継がれていくことが期待されます。



つる子ども祭り集合写真

学生表彰制度による表彰

平成23年度の学術研究活動等において、特に顕著な業績を挙げたと認められるなど活躍した学生又は団体に対する学生表彰制度により、松山文奈（日本学生陸上競技個人選手権大会200m3位入賞他）、合唱団（第64回全日本合唱コンクール全国大会 金賞【3年連続】）、吹奏学部（全日本アンサンブルコンテスト全国大会2年連続出場）、近世資料文書研究会（「甲州俳諧展—素堂（そどう）と句合（くあわせ）—」を企画・開催し、地域に貢献）、災害ボランティアチームV S（東日本大震災の被災者への幅広い支援活動）の1名及び4団体が表彰されました。



表彰の様子

文大だより

同窓生との模擬面接試験体験会

5月12日（土）に教員を目指す学生を対象とした模擬面接試験体験会が開催され、約120名の学生が参加しました。この体験会では本学卒業生が全国各地より参集し、面接官として指導いただきました。体験会は2部制となっており、第1部では計8名の代表学生が登壇して3名の面接官に対し本番さながらの模擬面接と集団討論を実施。また、代表学生による模擬授業も行われ、その後の講評では良かった点や修正を要する部分の指摘など、きめ細かい指導が行われました。第2部では教室に分かれ、集団討論や各地域の採用状況並びに教員採用試験におけるアドバイスなどの指導が行われ、面接官及び学生ともに真剣に取り組む、今後の採用試験に向けて良い刺激となりました。ご協力いただきました同窓会の皆様に、感謝申し上げます。



第1部の模擬授業の様子

AED取扱い講習会



AED講習の様子

万一の事態に備え、大学構内9箇所に新たにAED^{*}を追加設置したことから、平成24年2月15日に教職員や学生が機器の適切な使用方法を習得することを目的として、取り扱い講習会を実施しました。当日は外部から講師を招き、機器の外観説明、AEDを使った心肺蘇生法のデモなどを行い、参加者は真剣な表情で訓練を受けていました。

^{*}AED（Automated External Defibrillator）… 自動体外式除細動器といい、心停止状態になった傷病者の心臓に電気ショックを与え、正常な脈拍を取り戻させるための医療機器。

都留市主催の防災訓練に参加

毎年、都留市主催による防災訓練が市内の地域別に開催されていますが、今年は6月3日（日）に本学が所在する地域をメイン会場として実施され、地域の住民の皆さんとともに本学教職員及び学生の数十名が訓練に参加しました。当日は朝から雨が降っていましたが、市の防災無線により訓練開始の放送が流れると、各自治会ごとに多く

の方が会場である市民総合体育館に集合しました。

会場には土砂流実験模型や、災害状況を説明するパネルなどが設置され、山梨県職員により日頃の防災対策について講義などが行なわれました。また、市消防職員からは三角巾を用いた応急処置の方法や毛布と棒を用いた簡易な担架の作り方、衛星電話での通信などが実施されま

した。さらに、本学学生からも東日本大震災の被災地でのボランティア活動についての報告が行なわれました。



本学学生の活動報告

文大だより

各部・サークルの活動紹介

本学には約60の部、42のサークルがありますが、今回は次の4つを紹介します。

モダンダンスサークル

モダンダンスサークル(MDC)は、サークル名はモダンダンスですが実際はストリートダンスを中心に活動しています。現在部員は女の子しかいません。男の子募集中です！私たちは「HIPHOP」、「GIRLS HIPHOP」、「LOCK」、「JAZZ」の4ジャンルにわかれ、年間を通して、学内に限らずさまざまなところでパフォーマンスをしています。日々の練習は大変ですが、全員がスキルアップするために一生懸命努力しています。新一年生10名が加わり、さらにパワーアップしたMDCをこれからもよろしくお願いします。



管弦楽団

こんにちは、都留文科大学管弦楽団です。

私たち管弦楽団は総勢約60名のメンバーでオーケストラをやっていますが、その内の過半数、特に弦楽器はほぼ全員初心者から始めて、少しずつ上達しています。楽器に興味がある方、全く興味の無い方、初心者でも経験者でも管弦楽団は大歓迎です。是非一度見学に来てください。



11月18日にはうぐいすホール【大学から10分程】にて、定期演奏会を行いますので、是非お越しください。

ソフトテニス部

ソフトテニス部男子

僕たち男子ソフトテニス部は、一年生から四年生まで選手11名、マネージャー4名の計15



名で活動しています。部員の出身地は、静岡・長野・新潟・徳島・石川・福井・山梨・愛知など様々です。みんな仲良く、真剣に楽しくプレーしています。僕たちと一緒にテニスも私生活もエースをねらいましょう！その君！お待ちしております。

ソフトテニス部女子

女子部は現在、4年生6名、3年生3名、2年生6名、1年生3名の計12名で活動しています。関東学生リーグでは4部に所属し、日々の練習に励んでいます。個性豊かなキャラクター揃いで、男女部仲良しなのも特長です。この部活を通して、高校生活では学ぶことのできない社会性も身に付き、人間的にも大きく成長できると思います。

応援団

押忍。

私達都留文科大学応援団は、各部からの精鋭揃いの戦う集団です。毎日、昼と夜に練習を行っています。最初は貧弱だった団員達も、辛い練習に耐え、今では屈強な男達となりました。私達は、鶴鷹祭※で都留文科大学が勝利できるよう、力の限り応援します。鶴鷹祭では我等都留文科大学が勝利することを信じています。

※ 鶴鷹祭 … 本学と高崎経済大学とで毎年開催する総合体育対抗戦



6月23～24日に第39回鶴鷹祭が開催され、総合成績13対10で本学が勝利しました。

文大だより

オープンキャンパス

夏季オープンキャンパス 平成 24 年 7 月 21 日 (土) 午前 9 時～午後 3 時

【主な内容】 大学概要説明会／学科別説明会／学科別特別講義／卒業後の進路と就職状況の説明／留学制度説明会／教職員及び学生による進学相談／学生生活相談／学生ガイドによるキャンパスツアー／学食・お弁当体験／体育会、文化会等の活動紹介 など

秋季オープンキャンパス 平成 24 年 10 月 15 日 (月) ～ 26 日 (金) (水曜・土曜・日曜を除く)
午前 9 時 10 分～午後 4 時 20 分

【主な内容】 公開授業体験／学生ガイドによるキャンパスツアー／進学相談／学食体験 など



【申込方法】 本学 HP もしくは FAX により申込みください。

受付開始 (専用 HP 開設) は、夏季・秋季ともに開催日 1 カ月前を予定しています。

【問合せ先】 総務課 総務企画担当 0554 - 43 - 4341 (内線 210)

第 57 回 桂川祭のお知らせ

毎年、学生による実行員会を中心として、本学の学園祭である「桂川祭」が開催されており、今回で第 57 回目となります。今年は 11 月 1 日 (木) から 3 日 (日) までの 3 日間を予定しており、統一テーマを決めて、ス

ポーツ祭典や文化展、ゲストを迎えてのパフォーマンスや学内の各団体による模擬店など、他にもいろいろな企画があり、大いに盛り上がることでしょう。

あなたの参加をお待ちしています。



「桂川祭」の主役は学生

人 事 異 動

平成 24 年 4 月 1 日付けの人事異動は次のとおりです。
氏名の前が移動先、() 内は前職です。

採用

初等教育学科准教授 平野耕一
国文学科教授 早野慎吾
国文学科准教授 野口哲也
初等教育学科特任准教授 館山拓人
外国語教育研究センター 特任教授 中島康雄
外国語教育研究センター 特任講師 和田 望
学生課主幹 小林泰憲
総務課会計担当主査 長坂美和
総務課総務企画担当副主査 深澤知恵美
キャリア相談専門員 山田 淳

退職

高橋宏幸 (国文学科教授)
田中 実 (国文学科教授)
窪田憲子 (英文学科教授)
中益陽子 (社会学科講師)
小林泰徳 (学生課主幹)
大木英通 (学生課主幹)

転入

学生課参事 小林正人 (行政管理課主幹)
総務課主幹 谷内治彦 (市民生活課主幹)
学生課主幹 小俣昭也 (産業観光課副主幹)
総務課主査 程原誠二 (税務課主査)
学生課副主査 小林 誠 (産業観光課主任)

転出

教育次長 相川 泰 (総務課長)
健康推進課長 小笠原武彦 (総務課長補佐)
学びのまちづくり課主幹 相川博明 (学生課主幹)
財務経営課主査 久保田宏美 (総務課主査)
政策形成課副主査 関戸章雄 (総務課副主査)
福祉課主事 小俣 覚 (学生課主事)

昇任

学生課長補佐 久保田浩 (学生課主幹)
学生課主幹 佐藤雅子 (学生課副主幹)
総務課主査 小俣昌寛 (総務課副主査)

編集後記

30年越しの
教養教育の宿題

前田昭彦

授業内容はともかく、強烈だったのは、先生がオンシアター自由劇場の演劇『上海パンスキング』を「これまでみた最高の演劇、ぜひ見なさい」と絶賛されたことである。再演の機会にさっそく見に行った。以来、オペラでもミュージカルでもない音楽と芝居の組み合わせというジャンルが、私はとても好きになった。

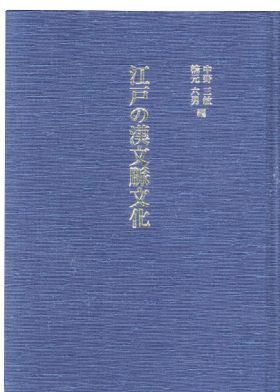
授業で読んだ近代能楽集も、上演の機会がかなりある芝居なので気がつけば見に行くようにした。「近代能楽集」のメニューで、気に入った舞台に「源氏供養」がある（実はこの作品の上演機会はほとんどない）。三島の台本を読みたいと思ったが……。ところが「源氏供養」は文庫などではなく、全集の1冊を買わねばならない（三島が気に入らなかったようだ）。

もちろん、新本はお金を出せばすぐ買えるのだが、まあそう急ぐこともあるまい。古本屋で気長に「気をつけていた」のだが、まったく出会わなかった。それをこのほど、めでたく出合って読んだ（全集 23）。以上 30 年越し。30 年越しの課題を学生にしかける、というのはおそらく教養教育にとって理想なのだと思う。その先生とは、故・越智治雄先生である。



本学で講演される寺崎先生

本 ぶんだい堂



江戸の漢文脈文化

中野三敏・楠元六男／編
2012 年 4 月
竹林舎出版 12,000 円 + 税

◇なかのみつとし
くすもとむつお 国文学科教授

ヘーゲル・未完の弁証法
「意識の経験の学」としての『精神現象学』の批判的研究

黒崎 剛／著
2012 年 3 月
早稲田大学出版部出版
12,000 円 + 税

◇くろさきつよし 社会学科准教授

歴史精神の再建
明治・大正・昭和

桶谷秀昭・新保祐司／著
2012 年 5 月
作品社出版 1,600 円 + 税

◇おけたにひであき
しんぼゆうじ 国文学科教授